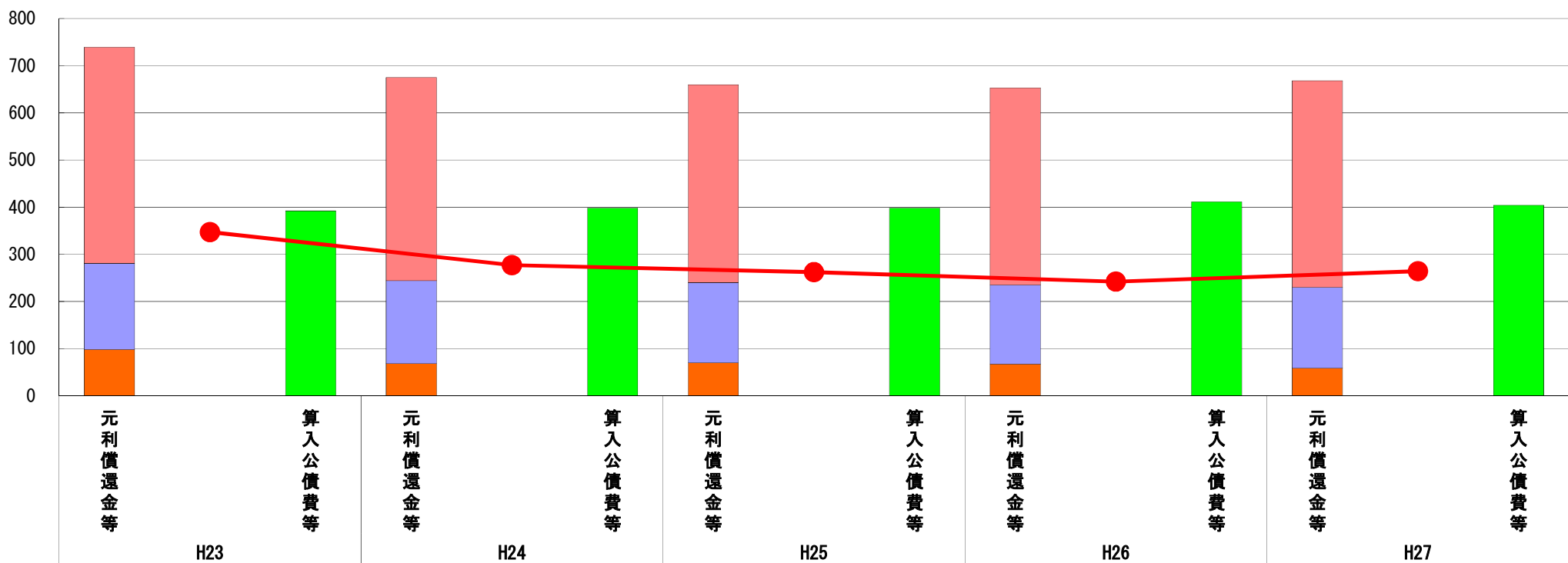


(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成27年度

宮城県大郷町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H23	H24	H25	H26	H27
元利償還金等 (A)	元利償還金		458	431	420	418	438
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		183	176	170	168	172
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		98	68	70	67	58
	債務負担行為に基づく支出額		0	0	0	0	0
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		392	398	398	411	404
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		347	277	262	242	264

分析欄

実質公債費比率は年々減少し、前年度より0. 2ポイント減の9. 7%となっている。

元利償還金について、統合小学校建設等に伴う地方債償還が開始したことにより前年度と比較すると増加している。

また、公営企業債の元利償還金に対する繰入金も合併浄化槽事業の元利償還金が増加したこと等により前年度と比較すると増加している。

今後、町道改良工事、宅地分譲事業等に係る起債償還が見込まれており、地方債の新規発行抑制等引き続き健全化の維持に努める。

※平成28年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。